

# 文学部 比較文化学科 小論文

## 【注 意】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は9時30分から11時00分まで(90分間)です。
3. この問題冊子は表紙以外に5ページあり、解答用紙は2枚あります。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答はすべて解答用紙の解答欄に記入してください。
6. 解答用紙の氏名欄を除き、受験者本人の特定につながるような氏名、住所、学校名等は記述しないでください。
7. 解答用紙を持ち出してはいけません。持ち出した場合、試験をすべて無効とします。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問題 次の文章を読んで設問に答えなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

(平野啓一郎『「カッコいい」とは何か』による。ただし、出題に際して原文の一部を改めた。)

(注1) 中国、唐代の詩人であった白居易<sup>ほくきょい</sup>の詩文集。9世紀前半に成立。

(注2) 室町時代、幕府に称された五つの禅宗の寺院を五山という。五山には、京都五山と鎌倉五山がある。その僧たちは、寺院での修行のほか、幕府との強い関係により、漢文を操る知識人として、幅広い影響力を発揮した。

(注3) 古代から辛亥革命<sup>しんがい</sup>(1911～1912年)頃までに中国人によって漢文で書かれた書籍の総称。

(注4) 中国、宋代に出現した新しい儒学の総称で、主に朱子学を指す。

(注5) 人として行うべき道。

(注6) 筆者が別著作において、人には対人関係ごとに見せる複数の顔があることを説明する際に用いた造語で、対人関係ごとに生じる様々な自分のことを指す。

(注7) 不快に感じるほど、音や声が大きかったり強かったりすること。

問1 「恰好が良い」と「カッコいい」の違いについて、本文の内容を350字以内でまとめなさい。(100点)

問2 下線部について、「カッコいい」人やものを求めることが、なぜ「自分探し」だと言えるのか。筆者の考えをまとめた上で、あなたの考える「カッコいい」事例を一つ挙げながら、400字以内で説明しなさい。(100点)